

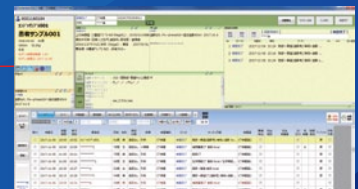


ケアストリームヘルス

<http://www.carestream.jp/ITEM2018>

theme **Unifying Patient-Centered Care.**

- [主な展示製品]
- 医用画像情報システム (PACS)
「Vue PACS」
 - 読影レポートシステム
「CARESTREAM RIS-J RMS」
「Vue Reporting」
 - 放射線情報システム (診断RIS・治療RIS)
「CARESTREAM RIS-J」
 - 複数施設連携アーキテクチャ
「Vue Connect」
 - ペンダーニュートラルアーカイブ (VNA)
「Vue Archive」
 - 医用画像クラウドサービス
「Vue Cloud Service」



CARESTREAM RIS-J



Vue PACS Client

ケアストリームは、100年を超える歴史を持つコダックのヘルス事業を前身とし、世界的に多くの医療機関に医療機器やヘルスケアIT製品を導入してきた。同社のClinical Collaboration Platformは、医用画像情報システム「Vue PACS」、放射線情報システム「CARESTREAM RIS-J」を中心に、検査ワークフロー、画像の読影、配信、施設間での共有など、幅広いソリューションの提供を可能としている。今年の展示ブースでは、各製品のデモンストレーションに加え、ステージによるプレゼンテーションにより、最新機能の利便性を紹介する。

◆ 医用画像情報システム (PACS) 「Vue PACS」

撮影画像の参照から、3Dデータの

表示・解析までを実現する読影対応の「Vue PACS Client」は、自動位置合わせ、病変管理、多数の解析機能により、読影医を力強くサポートする。臨床面では、PET/CTやCTパフュージョン解析、MRディフュージョン解析、マンモグラフィのトモシンセシス読影といった機能を搭載。

◆ 放射線情報システム (診断RIS・治療RIS) 「CARESTREAM RIS-J」

「CARESTREAM RIS-J」は、医療安全や情報共有に配慮し、多種多様な検索・統計機能も備える。レイアウトを工夫した視認性の高いユーザーインターフェース、モダリティごとのチェック機能、さまざまな連携インターフェースなどにより、効率的な業務ワークフローを実現する。

VNA・クラウドサービス

同社のClinical Collaboration PlatformでVNAを構成する「Vue Archive」は、DICOM画像だけでなく、Non-DICOMのあらゆる診療データを統合管理できる。保存されているデータは、Webベースのビューア「Vue Motion」で参照できる。

また、同社のソリューションは、クラウドを通じて運用することも可能。医用画像クラウドサービス「Vue Cloud Service」は、PACS画像のバックアップという医療機関のシンプルな要望から、関連施設との画像の共有や読影の連携といったクラウドデータの活用まで、ユーザの要望に応じて必要な機能を必要な範囲で提供している。